

【実践報告7】

ーグループ・アプローチと校種間連携を通してー

1 対象集団の状況

本校は、昭和51年4月に開校した全日制普通科の高校である。現在の規模は第1学年8学級、第2・3学年各7学級の22学級編成で、平成22年4月現在の生徒数は男子545名、女子327名の合計872名である。本校入学生徒の居住地域とその比率は、豊明市と東郷町の合計が全体の約33%、名古屋市が約42%、刈谷・知立市の三河地区が25%という数字である。この数字は、ここ数年似通った傾向で、豊明市と愛知郡地域・名古屋市内・三河地区の3地区でほぼ三分の一ずつという形であったが、平成22年度においては、三河地区の入学生がやや減少し、名古屋市内からの入学生が増加したことが一つの特徴と言える。また、男女比については、例年ほぼ男子2に対して女子1から男子3に対して女子2の割合で推移している。

本校は公共交通機関の最寄り駅から遠く、一部の生徒が通学途中で電車を利用するが、生徒のほとんどが自転車通学である。生徒気質を見ると、素直でおとなしいが、やや積極性に欠け、明確な目標をもたずに入学してくる生徒が多く、周囲の雰囲気や影響力のある生徒の言動に流される傾向がある。しかし、明確な目標をもった生徒は部活動での活躍や難関大学への進学などを果たしており、教えがいのある生徒たちでもある。

2 実践内容

(1) グループ・アプローチについて

ア 『匠の里』

(ア) 実施日時

平成21年4月21日（火） 1年生 7学級 277人

平成22年4月22日（木） 1年生 8学級 318人

1年生最初の学年行事として実施した宿泊研修のメニューの一つとして実施

(イ) 実施場所

平成21年度 愛知県豊田市 旭高原少年自然の家 研修室

平成22年度 岐阜県高山市 オハヨーサンホテル 研修室

(ウ) ねらい

高等学校への入学後、約2週間という時期に、高校生としての新たな人間関係を構築するきっかけとしてグループワークを利用する。

(エ) 活動の内容

新入学1年生最初の学年行事として例年実施されてきた宿泊研修のメニューの一つとして、学級担任がファシリテーターとなりグループワーク『匠の里』を実施した。

なお、本校職員は平成20年度の現職研修にてグループワーク『匠の里』を体験し、平成21・22年度とも宿泊研修引率者会にてグループワーク実施に当たってのグループワーク展開例やファシリテーターの注意点等、細かな点も確認して指導に当たった。

① グループ分け

グループワークを実施するためのグループ分けは、原則として学級内での出席番号の若い者から順番に人数でまとめる形で構成させた。この時期は、出身中学校からの情報が上がってきている特別な

事情のある生徒以外は、担任も生徒の人間関係が把握できておらず、グループ分けをする場合の特段の配慮をすることが困難である。そうした事情から、単純な名簿番号でのグループ分けとなった。さらに本校では、男女混合名簿にしているため、よほどの場合を除いてグループ内に男女が混在する形となっている。

② エクササイズの説明

ファシリテーターである担任が、実施するエクササイズのねらいを示し、内容やルールの説明をする。 【グループ分け】



③ 情報交換と問題解決

各グループのメンバーに、一人当たり4～5枚の情報カードを配布する。各カードに記されている情報を互いに口頭で交換し合いながら『匠の里』の地図を作り、問題解決を図る。メンバーの持っているカードのすべての情報が提示されないと最終的な解決に至らないので、メンバーは黙っている訳にはいかない。また、提示される情報を整理する者が出てこないと円滑に進まない。エクササイズの意図を理解する者がグループ内に出てくるかどうかの一つのポイントである。



【情報交換と問題解決】

④ 「振り返り」と「わかち合い」

地図作成と問題解決作業の終了後、グループワークを通じて各自が感じたことや考えたことを、自分なりの文章としてまとめる「振り返り」を実施し、その「振り返り」をグループ内で発表しあう「わかち合い」を実施する。

⑤ 「まとめ」

グループの中の代表生徒に解決した内容を発表させ、そのまとめをファシリテーターの担任が行う。



【振り返り】

(4) 参加者の様子

① 参加生徒の感想

- ・学級内のチームワークが良くなった感じがある。
- ・友人と協力することの重要性が体験できた。
- ・今まで話したこともなかった人と話すことができ、人間関係が広がった。
- ・〇〇君が何をするのかに気が付いて、みんなに声をかけてリードしてくれたので、うまくいった。

- ・目的を理解することの大切さが分かった。

② 教師の感想

- ・グループワークの意義を少しだけでも分かってくれたように感じた。
- ・カードに書かれていることが理解できない生徒や、書いてある漢字が読めない生徒がいたりして困った場面があった。
- ・グループ分けの難しさを感じた。

(カ) 課題

① 平成21年度

グループワークの現場で指導に当たった教員の感想にも見られたが、生徒の中には驚くほど語彙が少なかったり、情報カードに記載された内容が理解できなかったり、漢字が読めない生徒もおり、今後はこうした点について対策を講じることが必要である。また、グループ分けにも工夫がいと感じた。

② 平成22年度

前年度の反省に基づき、グループへの指示書や情報カードに記載されている漢字に振り仮名をつけ、指示や情報の内容が理解しやすいように工夫したことによってスムーズにグループワークが行われていった。しかし、今年の宿泊研修は前年度までのものから日程や宿泊施設を大幅に変更しており、また、当日は大雨や他団体との施設のバッティングで急遽の日程変更もあり、慌ただしい中でのグループワークとなり、落ち着きのない雰囲気を実施しているクラスもあった。

イ 『宇宙船での選択』

(ア) 実施日時

平成21年7月9日(木) 5限目 1年生 7学級 278人

平成22年6月15日(木) 5限目 1年生 8学級 317人

各学級の総合学習の時間を利用して実施

(イ) 実施場所

各HR教室

(ウ) ねらい

- ・グループ内で意志を決定する時の一つの方法を学ぶ。
- ・コンセンサスとは何かを知る。
- ・意見の違いをどのように調整し、結果として皆が満足できるような決定づくりをどのように図るかという方法を体験する。
- ・仲間づくりを進める。

(エ) 活動の内容

入学後、約2・3ヶ月が経過し、それぞれの学級内では生徒同士のグループが形成されていた。今回も前回の『匠の里』と同様に、担任がファシリテーターとして実施した。今回の生徒のグループ分けについては、学年としての統一をせず、各担任に一任する形で行った。担任によっては1回目の『匠の里』の時に気付いたことを考慮してグループ分けを工夫したり、普段の生徒のグループを意識しながら、新たな人間関係を構築できるような配慮を考えていたようであった。

- ① エクササイズのねらいを説明し、課題やルール、心得を説明する。
- ② 与えられた条件の中で、誰を排除するか個人の考えをまとめる。
- ③ 個人の決定を持ち寄り、グループの全員で合意して決定する。

- ④ メンバー全員が自分の思ったことや考えたことを振り返る「振り返り」を行う。
- ⑤ 各グループで「振り返り」を発表し合う「わかち合い」を行う。
- ⑥ グループごとに発表し、ファシリテーターがまとめる。

(オ) 参加者の様子

入学後、約2・3カ月が経過し、定期考査や体育大会を経験する中で、各学級にそれぞれの雰囲気ができ始めた頃での実施で、テーマが重苦しいものであるにもかかわらず、多くのグループで活発な議論が行われていた。担任の配慮で形成された、あまり人間関係をもたない生徒同士のグループでも、活発な意見交換をする姿が見て取れた。

① 生徒の感想

- ・多数決ではない方式で決めていくのは難しいと思った。
- ・一人一人違う意見で、(多数決と違って)その理由までお互いに考えながら答えを出していくことの大変さを感じた。
- ・みんなの考え方の違いはよく分かった。でもまとめられない。
- ・自分の意見をきちんとみんなが聞いてくれてうれしかった。
- ・あまりしゃべったことのない人の話が聞けてよかった。
- ・けっこう楽しかった。私だけがみんなと意見が違っていてびっくりした。

② 教師の感想

- ・男子と女子の間に感じられていた成熟度の差が一層はっきりしたように見える。
- ・女子の多くは、リーダーがいなくてもうまく人間関係を作っていくが、男子の中には母親の役をする女子とセットでないと他人との関係をもつことができない生徒が何人かいる。
- ・コミュニケーションの取り方を理解して行動する能力のある男子も見られた。
- ・グループワークの意義を含めた学習をしてみようという気持ちが生まれた。
- ・生徒の行動は予想の範囲内だったが、相互理解の速度を上げる効果があるように思う。

(カ) 課題

① 平成21年度

4月に行った1回目の『匠の里』の反省から、ほとんどの担任がグループ分けに工夫を凝らしていた。単純な番号順のグループ分けでなく、担任の先生がファシリテーターとしての明確な意図を持ってグループ分けを工夫したことに大きな意味があったと考えている。特にこの7月という時期は、高等学校への入学後3ヶ月が経過しており、この間に2度の定期考査と学校行事としての体育大会が行われていた。こうしたことから、学級内での生徒たちの人間関係も一定の形が出来ており、そのグループを意識するのか、または無視するのかで、グループ分けが大きな意義をもってくる感じた。

② 平成22年度

年度の反省と4月に行った1回目の『匠の里』の反省を生かし、大きな問題もなく落ち着いた雰囲気で行うことができた。

(2) 校種間連携について

ア 本校の主な中高連携行事

(ア) 公開授業と懇談会

① 目的

- ・中学校の先生方を対象とした公開授業を実施し、本校の授業の現状を知っていただく。
- ・本校第1学年生徒と中学校の先生方との懇談会を実施し、生徒理解を深める。

- ・中学校の先生方との情報交換会を実施し、本校の学習指導や生徒指導の在り方について理解を深め、本校職員の力量向上の一助とする。

② 概要

- ・実施日は6月中旬の平日，午後1時50分から午後4時40分
- ・場所は会議室，1年生各教室，図書室
- ・対象は豊明・東郷，刈谷・知立，名古屋の各地区の中学校(22年度は10名参加)

〈日程と内容：平成22年6月15日(火)〉

時 間	内 容	場 所	備 考
13:30～13:50	中学校教員来校	会議室	受付
13:50～14:00	校長あいさつ	会議室	校長あいさつ，日程説明
14:00～14:20	学校紹介	会議室	生徒の学校生活について紹介 ・卒業生の進路（進路指導部）・部活動の様子(特活部)・学習指導(教務部)
14:30～15:20	公開授業と授業参観	各教室	3班に分かれて案内
15:20～15:40	休憩及び移動	各会場	懇談会会場への案内
15:40～16:05	中学校教員と生徒との懇談会	各会場	懇談会会場での点呼
16:10～16:35	情報交換	図書室	中学校教員と本校職員との情報交換 (懇談会情報，生徒情報，学習指導や生徒指導，進路状況など)
16:35～16:40	校長あいさつ，解散	図書室	

(イ) 学校説明会

① 目的

- ・中学3年生を対象（保護者・中学校教員も参加可）に本校の教育活動を知ってもらう。

② 概要

- ・実施日は8月上旬と10月下旬の二日間，午前もしくは午後の半日。
- ・場所は体育館をメインとした全ての施設。

〈日程と内容：平成22年度8月5日(木)〉

時 間	内 容	場 所	備 考
13:00～13:20	受付	体育館	中学校単位で受け付け
13:25～14:25	全体説明会	体育館	校長あいさつ，日程説明 生徒の学校生活について紹介 ・卒業生の進路（進路指導部）・部活動の様子(特活部)・学習指導(教務部)・学校生活(生徒指導部)
14:30～15:20	施設・部活動見学及び文化部体験入部(希望者のみ)	校内	施設・部活動見学は10班に分かれて案内 文化部体験入部は各部代表者が案内
15:20～	アンケート記入・解散	各控室	

(ウ) 中学校授業の参観

① 目的

中学校授業を参観することにより、教科指導や生徒理解の一助とする。

② 概要

- ・実施日は10月中旬の本校の考査期間を利用し参観する。〔平成22年度は10月7日(木)・8日(金)・12日(火)の三日間で実施〕
- ・参観中学校は豊明市の三中学校とする。
- ・各教科1～2名参加し、全体で3グループを編成し、各グループが一中学校で参観する。

(エ) 中学校の現状を知る学習会

① 目的

中学校の現状や問題点を知り、中学校との情報交換によって本校の教育活動の一助とする。

② 概要

- ・実施日は11月下旬の本校の考査期間を利用した現職研修とする。〔平成22年度は11月30日に実施予定〕
- ・豊明市の三中学校と刈谷・知立地区及び名古屋地区から一中学校をそれぞれ選択し、合計五中学校から輪番で講師を派遣していただく。

イ 中学校から高等学校にかけてのアンケート調査

(ア) 実施日

① 平成21年度

- ・E中学校 平成21年2月23日(月)・24日(火)
- ・本校 平成21年7月13日(月)

② 平成22年度

- ・E中学校 平成22年2月23日(火)・24日(水)
- ・本校 平成22年8月5日(木)

(イ) ねらい

本校がある豊明市内には、3校の公立中学校が存在する。そのうち、今回はE中学校から平成21年度に入学した14名、22年度に入学した20名の生徒が、中学校卒業前に残したアンケートと、本校入学後の1学期末に実施したアンケートの内容を比較しながら、適応度について考察する。

(ウ) 活動の内容と生徒の回答

① E中学校出身生徒の中学校卒業前におけるアンケート項目と回答

- | |
|---|
| A あなたが現在、来年度から通う高校での活動について、期待していることや楽しみにしていることを書いてください。 |
| B あなたが現在、来年度から通う高校での生活に対して、不安に思っていることがあったら書いてください。 |

○上記Aに対するE中学校生の回答

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・いろいろな人と友達になれること。(複数回答あり)・部活動の種類が多いこと。(複数回答あり)・文化祭や修学旅行などの学校行事が楽しみ。(複数回答あり)・新しい先生との出会い。・勉強を頑張りたい。(複数回答あり) |
|---|

○上記Bに対する生徒の回答

- ・勉強についていけるか。(複数回答あり)
- ・部活についていけるか。(複数回答あり)
- ・対人関係や新しい友達ができるかどうか。(複数回答あり)
- ・イジメや嫌がらせ。(複数回答あり)
- ・登下校の大変さ。(複数回答あり)

② E 中学校出身生徒の本校入学後の1学期末のアンケート項目と回答

- C 入学前に抱いていた期待や楽しみは、今現在どうなりましたか
 D 入学前に抱いていた不安は、今現在どうなりましたか

○上記Cに対する生徒の回答

- ・新しい友達がたくさんできた。(複数回答あり)
- ・授業は別に中学と変わらない感じがする。
- ・部活動や行事等で忙しいけど楽しい。
- ・体育大会は中学校の方が盛り上がり楽しかった。(複数回答あり)
- ・部活動も色々あり、自分に合った部活に入れて楽しい。(複数回答あり)

○上記Dに対する生徒の回答

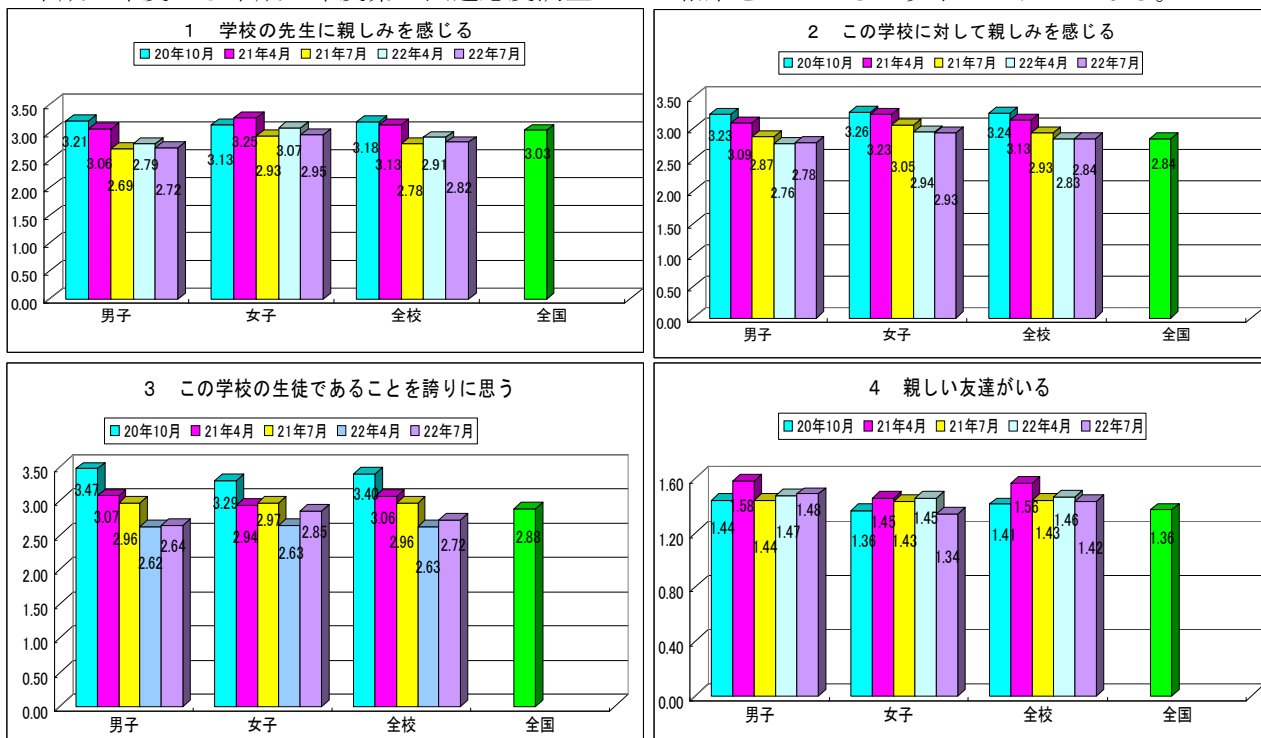
- ・友達はできたけど勉強はまだ不安だからこれから頑張る。(複数回答あり)
- ・学校にも慣れ、新しい友達もでき、不安はなくなった。
- ・先輩は思ったより優しくだったので、不安は小さくなった。(複数回答あり)
- ・現在もあまり解消されていない。
- ・勉強は難しく不安。(複数回答あり)

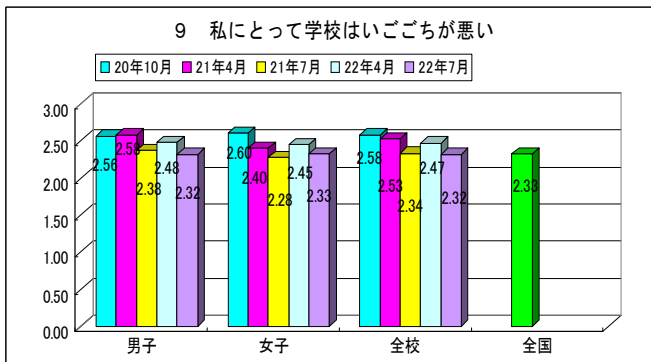
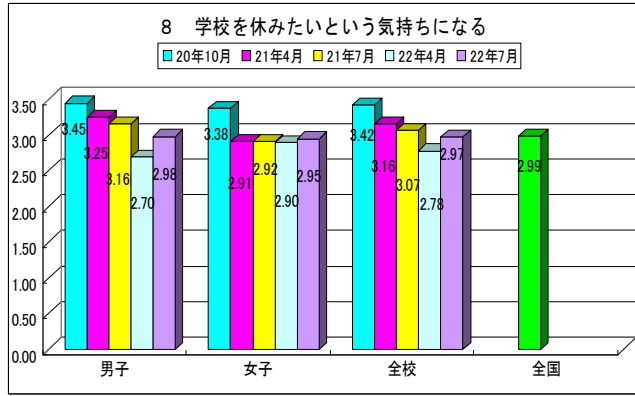
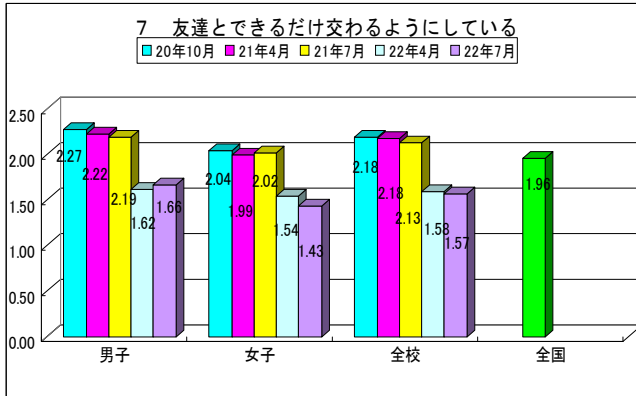
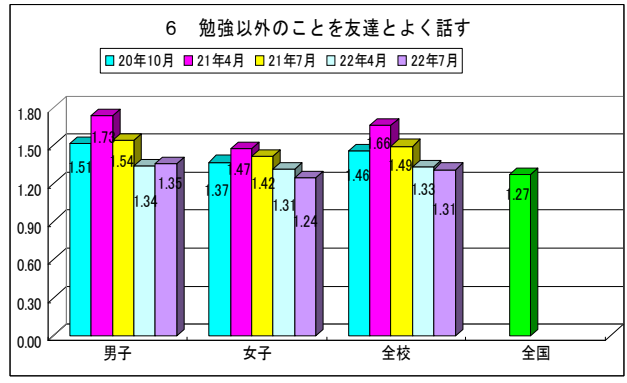
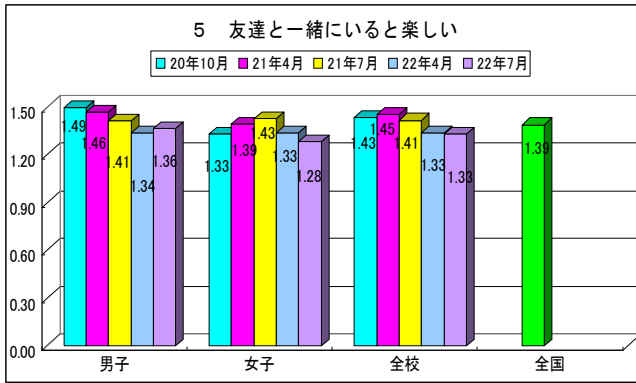
3 結果と考察

(1) 適応度調査結果

ア 適応度調査のまとめ

平成20年度から平成22年度第2回適応度調査までの結果をまとめると以下のグラフになる。





イ 考察

グラフ1・2・3・8・9は学校や先生に関するもので、グラフ4・5・6・7は友達に関するものである。学校や先生に関するグラフと友達に関するグラフのそれぞれの特徴を挙げると次のようである。

(ア) 学校や先生に関して

全てのグラフの学年平均は僅かではあるが、年々肯定度が高くなっている。これは、本校が遅刻者数の減少や身だしなみの改善など規律ある学校へと雰囲気が変わってきており、生徒側のこれに応えようとする姿勢の表れであると考えられる。次に、平成22年度入学生徒は半数以上のグラフで4月より7月の方が肯定度が僅かであるが低くなっている。これは、前述の学校の雰囲気から、4月は緊張感の表れで、7月になってその緊張が和らいだのではないかと考えられる。

(イ) 友達に関して

グラフ4を除いたグラフの学年平均は僅かであるが年々肯定度が高くなっている。これは、本研究でのグループワークの経験によって仲間との積極的な交流がなされるようになった表れであると考えられる。また、平成22年度入学男子は全てのグラフで4月より7月の肯定度が僅かであるが低くなっている。これは、自転車への軽微なイタズラが1学期中断続的に続いたことによる影響と、4月に肯

定感が高かったため、その反動が表れていると考えられる。なお、グラフ4は平成20年度の10月の結果が非常に肯定度が高くなっている。これは、平成21・22年度のアンケートは7月上旬実施であるのに対し、平成20年度のアンケートは10月実施であったため、本校のメイン行事である6月の体育大会と9月の文化祭を経験する中でクラスメイトとのかかわりがより強くなった結果と考えられる。

(2) 校種間連携結果

ア アンケートからの適応度

平成21・22年度本校入学のE中学校出身生徒の中学校卒業前におけるアンケート及び本校入学後の1学期末のアンケートから入学前の期待や楽しみがどのように変化したか、入学前の不安がどのように変化したかをまとめると以下の表ようになる。

(ア) 期待と楽しみの変化（入学前と1学期末との比較）

中学校卒業前のアンケート				本校入学後1学期末のアンケート												
期待していることや楽しみにしていること				①期待通り 楽しみの継続			②期待度や 楽しみの減少			①②どちらとも 言えない			回答なし			
	年度	21	22	計	21	22	計	21	22	計	21	22	計	21	22	計
部活動		12	12	24	67%	50%	58%	25%	25%	25%	8%	25%	17%	0%	0%	0%
学校行事		7	15	22	71%	33%	45%	14%	53%	41%	0%	13%	9%	14%	0%	5%
友達		7	9	16	71%	78%	75%	14%	0%	6%	0%	22%	13%	14%	0%	6%
学校生活全般		5	3	8	80%	67%	75%	0%	0%	0%	20%	33%	25%	0%	0%	0%
勉強や授業		3	1	4	0%	0%	0%	67%	0%	50%	0%	100%	25%	33%	0%	25%
その他		2	4	6	0%	25%	17%	0%	25%	17%	0%	50%	33%	100%	0%	33%

※平成21年度の入学生は14名、平成22年度入学生は20名で複数回答可

※その他は部活動と勉強の両立・先生との出会い・生徒会活動・制服が変わるなど

(イ) 不安感の変化（入学前と1学期末との比較）

中学校卒業前のアンケート				本校入学後1学期末のアンケート												
不安に思っていること				解消			小さくなった			変わらない			回答なし			
	年度	21	22	計	21	22	計	21	22	計	21	22	計	21	22	計
勉強(授業・テスト)		12	15	27	25%	13%	19%	17%	13%	15%	58%	73%	67%	0%	0%	0%
学校生活全般		8	3	11	75%	66%	73%	0%	33%	9%	25%	0%	18%	0%	0%	0%
友達		5	5	10	80%	80%	80%	0%	0%	0%	0%	20%	10%	20%	0%	10%
人間関係(先輩・イジメ等)		5	5	10	40%	40%	40%	0%	20%	10%	60%	40%	50%	0%	0%	0%
通学		2	1	3	100%	0%	67%	0%	100%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
部活動		1	3	4	0%	33%	25%	0%	0%	0%	100%	67%	75%	0%	0%	0%
その他		2	3	5	100%	33%	60%	0%	33%	20%	0%	33%	20%	0%	0%	0%

※平成21年度の入学生は14名、平成22年度入学生は20名で複数回答可

※その他は部活動と勉強の両立・担任はしっかりしているか・修学旅行先・弁当作りなど

イ 抽出生徒の変容

平成21・22年度本校入学当初、それぞれの担任会で、A中学校出身生徒で集団の中にもうまく溶け込めそうでないような雰囲気のある生徒が居れば様子を見ていこうと決め、平成21年度は3名（A・B・C）、22年度は2名（D・E）の抽出生徒の入学後の変容を担任の所見や校種間連携のアンケートからまとめたものが以下の表である。

生徒A

1 入学当初の様子

クラスになじめず、教室内では一人でいることが多かった。その反面、教師に対してはとてもひとなつこく接していた。

2 校種間連携アンケート本人記述

ア 中学卒業前の不安に関して

・普通に生活できるかどうか。・友達ができるかどうか。・クラスの人と仲良くできるかどうか。・イジメとか大丈夫なんかなあとか。・担任はしっかりしているかなあとか。

イ 1学期末時点での不安に関して

・新しい友達はたくさんできました。・まあおおめにみてもいいかなあってところです。・クラスは今よかましってぐらいですかね。悪くないです。・担任の先生はよかったですね。安心です。・イジメがまだどうなるかわかりませんが、そのうちないとも言えません。どうなるかねって感じです。

3 2学期末の様子

クラスの中に同じ趣味をもつ生徒を発見して教室内で1人であることは減少している。

4 変化のきっかけ

2学期初めに転部し、打ち解けられる仲間が多く見つかった。

生徒B

1 入学当初の様子

積極的に人とかかわろうとせず、クラスにうまくなじめなかった。それが不安となり、宿泊研修に参加できなかった。

2 校種間連携アンケート本人記述

ア 中学卒業前の不安に関して

・第一希望校の勉強についていけるか。・学校生活

イ 1学期末時点での不安に関して

・解消

3 2学期末の様子

将来の進路や学力についての不安を抱え、学校を休みがちになった。そして、その欠席が更に登校への気持ちを妨げることとなった。

4 変化のきっかけ

一度欠席をしてしまったことが、本人の中で負い目となり、学校に足が向かなくなってしまうと考えられる。また、欠席が増えていくことで、学業に取り残されていくという不安も大きくなっていったことだろう。

5 学校の支援

11月ころより不登校傾向に入る。中学校と連絡を取ったり、家庭訪問を何度か行った。

生徒C

1 入学当初の様子

マイペースな性格のため、集団で行動すると時間が守れず遅刻することが多かった。性格が理解されず、イタズラを受けることがあった。

2 校種間連携アンケート本人記述

ア 中学卒業前の不安に関して

・勉強。・部活動。・友達。・3年間、通い続けられるか(いろいろな意味で)。

イ 1学期末時点での不安に関して

・不安でもあるし、難しい。

3 2学期末の様子

学校に慣れるのに時間がかかったが、教員の支援もあり、大きな問題もなく生活している。

4 変化のきっかけ

クラス全体がグループワークや学校行事などを通じて、本人の性格や行動を理解できるようになった。このことにより、本人も少しずつ心を開いて行動するようになっていった。

5 学校の支援

体育の水泳授業でのイタズラ被害から、数件のイタズラの被害が発覚。中学校と連絡を取ったり、加害生徒への指導を行った。

生徒D

1 入学当初の様子

非常に真面目で、集団の行動においては皆に合わせることができず、人前で話すことも苦手で1人であることが多かった。

2 校種間連携アンケート本人記述

ア 中学卒業前の不安に関して

・先輩にからまれること。・3年間通い切れるか。

イ 1学期末時点での不安に関して

・優しい先輩ばかりで、不安は完全に消えました。ヤンキーのような人がいると思っていましたが、ヤンキーはいませんでした。・3年間通い切れると思います。この高校に入学して本当によかったです。

3 1学期末の様子

真面目さがクラスの中で理解され、皆に信頼されている。友達もいて有意義な学校生活を送っている。

4 変化のきっかけ

宿泊研修、グループワーク、体育大会などの活動で他の生徒と話したり、一緒に行動したりすることで皆と打ち解けていった。

生徒E

1 入学当初の様子

中学校時代親しかった友人とクラスが別になり、同じ中学出身者と一緒に行動するもなじみず、「学校に行きたくない」と訴えた。入学2週間目に欠席、その日の夕刻に母親とともに「やめたい」と相談に来校。

2 校種間連携アンケート本人記述

ア 中学卒業前の不安に関して

・なし

イ 1学期末時点での不安に関して

・今は勉強についていけるか心配です。

3 1学期末の様子

欠席は2日のみで落ち着いて生活している。部活には参加していないが、行事の委員としての仕事などは真面目に取り組んでいる。友人関係も少しずつ広がりを見せている。

4 変化のきっかけ

母親と来校した折に1時間ほど自分の気持ちを表に出したことで、1人で無理に頑張ってきた姿勢が緩んだ。宿泊研修時に他にも悩んでいる生徒がいることに気付き、順応していこうとする気持ちが芽生えた。出身中学校の先生に会いに行き励まされた。

ウ 考察

(ア) アンケートから読み取れる適応度

期待や楽しみの変化については、本校入学の際、多くの生徒が部活動・学校行事・友達づくりに期待や楽しみを抱いていることが分かる。そのうち、新しい友達との出会いや友達づくりには満足している生徒が多いが、学校行事については意見が大きく分かれた。『②期待度や楽しみの減少』と感じた生徒は主に22年度入学女子生徒が多く、中学校時の体育大会と比較して、「本校の体育大会の準備期間が短く、盛り上がり欠ける」との感想が挙がっていた。部活動は『②期待度や楽しみの減少』『①②どちらも言えない』と感じた生徒も、意欲的な活動の中で少しの不満や不安が同居しているようである。

不安の変化については、不安に思っていることの一つは勉強に関することで、他の項目と大きな差がある。入学後の変化についても「変わらない」と回答した生徒が非常に多かった。これは、普通科進学校である本校の学習に関する指導姿勢についての情報やイメージと、生徒たちのこれまでの学習習慣との差によるものであり、また、一部の例外はあるものの、授業や学習に対して真面目に向き合おうとする意識からのものであると思われる。2番目に多かったのが学校生活全般に関することで、「3年間続けられるか」、「学校できちんとやれるか」、「学校にとけこめるか」などである。この項目につ

いては多くの生徒が入学後解消したと回答している。3番目に多かったのが、友達と人間関係である。まず、友達については入学後解消した生徒がほとんどであるが、人間関係については「解消」や「小さくなった」と回答した生徒と「変わらない」と回答した生徒が同数であった。イジメや先輩との関係に不安をもち続けている生徒がいることが分かった。

これまでも本校は、新入生オリエンテーションの総まとめという意味と、高校に入学して新しい環境での人間関係構築を大きな目標として宿泊研修を設定し実施してきた。この宿泊研修での諸活動に本研究のグループワークの論理的手法が加わり、より一層人間関係づくりが充実してきたと感じる。

(イ) 抽出生徒の変容

教員の観察眼はなかなか鋭い。入学当初の様子から不安定要素のある生徒をよく見ていると感じた。平成21年度抽出生徒3名『生徒A・B・C』、22年度抽出生徒2名『生徒D・E』の計5名のうち2名の生徒の変容記録から、担任がグループワークでの体験が本人やクラスの仲間に良い影響を与えたことが記載されており、グループワークによって人間関係構築に効果があることが分かった。

また、抽出生徒5名のうち、不登校傾向に陥り学校（主に担任や学年主任）からの支援を受けた『生徒B』の校種間連携アンケートの本人の記述に注目してみると、中学校卒業前では「第一希望校の勉強に…」、1学期末時点では「解消」と記述しており、「第一希望校への思い」が強くうかがえ、「解消」と強がっているように受け取れる。不登校になることはなかったが学校から支援を受けた『生徒C』は中学校卒業前では「・勉強・部活…」と多くの不安を挙げてはいるが1学期末時点では「不安でもあるし、難しい」と素直に自分の気持ちを記述している。また、「やめたい」と相談に来校した『生徒E』は中学校卒業前では「なし」であるが1学期末時点では「今は勉強についていけるか心配です」とこれも素直に自分の気持ちを記述している。他の2名の記述も中学卒業前・1学期末時点とも素直な気持ちをしっかりと記述している。観察と記録、生徒の変化を見守るには非常に重要なキーワードである。そして、これに生徒の記述からの読み取りが加われば、生徒の心の変化を早い段階で理解することができると思われる。

4 今後の課題

本研究で一番難しく感じたのは、多くの教員の協力を得て研究を進めることであった。グループワークの実践やアンケートの実施、抽出生徒の観察など平成21・22年度の各1年学年会、総数32名の教員の協力である。本校ではこれまでも、『新入生オリエンテーションの総まとめ』と『新しい環境での人間関係構築』を大きな目標として宿泊研修を設定し実施してきたが、平成22年度からは日程が短縮され1泊2日となっており、二つの目標を達成することが難しくなった。グループワークは人間関係構築に効果のある手法であることを本研究で協力した教員は周知しているので、宿泊研修の主な目標を後者に置き、是非、これを継続していきたい。また、より効果が上がるようファシリテーターの育成に力を注ぎ、LTでの展開も年間計画として学年の中で取り入れていきたい。

参考文献

『Creative School』

(プレスタイム社)

『新グループワーク・トレーニング』

(遊戯社)

校種間連携の記録 1

生徒の不安はどうなったのか（中学校→高等学校）

平成21年度

	入学前の気持ち (不安に思っていること)	1学期末時点での気持ち (入学前の不安はどうなったか)
生徒A	<ul style="list-style-type: none"> ・第一希望校の勉強についていけるか。 ・学校生活。 	<ul style="list-style-type: none"> ・解消。
生徒B	<ul style="list-style-type: none"> ・普通に生活できるかどうか。 ・友達できるかどうか。 ・クラスの人と仲良くできるかどうか。 ・イジメとか大丈夫なんかなあとか。 ・担任はしっかりしているかなあとか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達はたくさんできたし、まあ大目に見てもいいかなあってところです。 ・クラスはうんまあ今よかましってぐらいですね。悪くはないです。 ・担任の先生は良かったですね。安心です。 ・イジメはまだどうなるかわかりませんが、そのうち無いともいえません。どうなるかって感じです。
生徒C	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強の進むスピード。 ・雨の日も自転車通学しなくてはいけない。 ・対人関係。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いまのところ大丈夫。
生徒D	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	
生徒E	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強が難しいか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そんなに変わらない。
生徒F	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強。 ・部活動。 ・テスト。 ・友達。 ・3年間通い続けられるか(いろいろな意味で)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不安でもあるし難しい。
生徒G	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強が難しそう、勉強が苦手であまりうまくいかどうか。 ・新しい友達ができるかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・うまくいっている教科もあるが、赤点になりそうながあるので、まだ少し不安。
生徒H	<ul style="list-style-type: none"> ・授業についていけるか。 ・上手くいくかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強の方はかろうじてついていけるが、中学校と比べペースが速く不安はあまりぬぐえない。その他はとりあえず上手くいっている。
生徒I	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強についていけるか。 ・新しい友達ができるか。 ・行事は楽しいのか。 ・学校にとけこめるか。 ・修学旅行先。 ・通学の大変さ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校にも慣れ、新しい友達もたくさんできて、不安はなくなった。

	入学前の気持ち (不安に思っていること)	1学期末時点での気持ち (入学前の不安はどうなったか)
生徒J	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強。 ・部活。 ・先輩。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強は予習復習が大変だし、難しさも段違いで、不安が消えない。 ・部活は大変だし、辛いことが多くて、まだ慣れていない。 ・先輩は思っていたより優しくかったので、不安は最初より小さくなった。
生徒K	<ul style="list-style-type: none"> ・先輩にからまれること。 ・3年間通いきれるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・優しい先輩ばかりで、不安は完全に消えました。ヤンキーのような人がいると思っていましたが、ヤンキーはいませんでした。いい人ばかりでした。3年間通いきれると思います。この高校に入学して本当によかったです。
生徒L	<ul style="list-style-type: none"> ・学校できちんとやっていけるかな。 ・勉強や部活にきちんとついて行けるかな。 ・自分の目標に向かってやって行けるかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あんまりきちんとやれてないかんじがする。ダラけてる。 ・目標もあまりもてないし、全然いそがしすぎる。
生徒M	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強について。 ・友達ができるかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強は全然できていません。 ・友達はまあまあできた。 ・勉強以外の不安はなくなった。
生徒N	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に来る人たちが良い人であるかどうか。 ・苦手教科も難しくなること 	<ul style="list-style-type: none"> ・良い人はあまりいない。変な人ばかりだった。 ・苦手教科はなんとかなった。
生徒O	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強についていけるか不安。 ・校則に耐えられるか不安。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強は意外と難しくて、これから不安。 ・校則は厳しいが学校のルールなので仕方がないと思う。
生徒P	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強と部活動の両立。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不安がないと言えようそになりますが、前に比べると不安はなくなりました。
生徒Q	<ul style="list-style-type: none"> ・なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なし。
生徒R	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの人がいじめとかをしないか。 ・勉強するのに授業について行けるか。 ・友達ができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめはない。 ・友達はできた。 ・授業は頑張ってついていくようにしている。
生徒S	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強についていけるか。 ・友達はたくさんできるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達はできたけど勉強はまだ不安だからこれから頑張る。
生徒T	<ul style="list-style-type: none"> ・なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今は勉強がついていけるか心配です。
生徒U	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校での勉強は難しいので、遅れないように頑張りたい。

校種間連携の記録 2

生徒の期待や楽しみはどうなったのか（中学校→高等学校）

平成21年度

	入学前の気持ち (期待していることや楽しみにいること)	1学期末時点での気持ち (入学前の期待や楽しみはどうなったか)
生徒 a	・部活。	・順調。
生徒 b	・普通に生活できればいいです。 ・友達たくさん作りたいです。 ・部活を頑張りたいです。 ・勉強をものすごく頑張りたい。	・新しい友達はたくさんできたし、まあ大目に見てもいいかなあってところです。 ・部活は同情で入って失敗しました。頑張りすぎてもう嫌。変える。
生徒 c	・中学より校則がユルくなる。 ・学校行事。 ・新しい友達。 ・楽しい高校生活。	・かなっている。
生徒 d	・部活と勉強の両立。 ・部活。 ・学校行事。	・一番楽しい時間。
生徒 e	・部活が楽しみ。 ・高校生活全部が楽しみ。	・まあいい感じに楽しい。
生徒 f	・勉強と部活動。 ・テスト。 ・友達。 ・行事(文化祭、修学旅行)。	・不安でもあるし難しい。
生徒 g	・色々な人と友達になれること。 ・部活動の種類が多いこと。 ・行事。	・新しい友達もできて、毎日が充実している。
生徒 h	・部活動。 ・学校行事。	・部活動では、中学より出来るスペースが限られていて若干の不満を感じる。 ・学校行事は個性的なものが多くとても楽しい。
生徒 i	・新しい友達。 ・部活動。	・友達がたくさんでき、部活動も中学より充実している。
生徒 j	・新しい友達や先生に出会うことが楽しみです。 ・部活動、学校行事の盛り上がり等に期待しています。	・忙しいけど楽しい。
生徒 k	・中学とはちがう学校生活。	・行事が楽しかった（遠足など）。
生徒 l	・部活。	・充実している。

	入学前の気持ち (期待していることや楽しみにいること)	1学期末時点での気持ち (入学前の期待や楽しみは怎么样了か)
生徒 m	<ul style="list-style-type: none"> ・行事。 ・部活。 ・クラスメートとの付き合い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事は皆で協力して行えば、楽しくやれることが分かってよかった。期待通り。 ・部活は辛いけど、楽しくやれるしよかった。期待もあったが不安も生まれた。 ・クラスメートの付き合いも、楽しい人も多く楽しめたが不安なものもあった。期待どおりだった。
生徒 n	<ul style="list-style-type: none"> ・入りたい部活に入ること。 ・新しい友達を作ること。 ・高校の文化祭。 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望した部活に入ることができ、部員として活動しています。気の合う人がたくさんいて、中学時代5人しかいなかった友達が20人くらいになりました。 ・文化祭は全員参加で自分の役割があることがうれしい。
生徒 o	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動。 ・新しい友達。 ・学校生活。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動はもっと多人数でできると思っていたが、期待より少人数で残念だった。自分なりに頑張ればいいと改めて思った。 ・入学してすぐにたくさんの友達ができて楽しく過ごしています。 ・学校生活でもっと行事が盛んで楽しいと思っていたが期待はずれだった。
生徒 p	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動。 ・行事。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ同じです。両方とも積極的に取り組んでいます。
生徒 q	<ul style="list-style-type: none"> ・友達作り。 ・中学校とは違う行事など。 	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさん友達ができてうれしい。 ・今、体育大会が終わったけど、中学より盛り上がらない、中学の方が楽しかった。
生徒 r	<ul style="list-style-type: none"> ・行事はどれくらい盛り上がるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事は中学のが楽しくて盛り上がった。
生徒 s	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と修学旅行に行くこと。 ・勉強と部活動の両立。 ・文化祭、体育大会など。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活をやっていると、つい疲れて寝てしまうことがあったり、まだ、うまく両立できていないので頑張りたい。 ・中学校の時の体育大会より盛り上がりが少なく、なんかあっけなく終わって行った。
生徒 t	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在はとくに部活に対しての期待や楽しみはありません。
生徒 u	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい仲間。 ・部活。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活についての楽しみはありません。 ・女子が少ないので、新しい仲間はできました。